

IVSのイワタ書体への実装と、相互運用性上の課題について

狩野宏樹（株式会社イワタ） 小澤 裕（株式会社イワタ）

イワタによる IVS 実装の概要とその背景

株式会社イワタは、2011年2月に販売を開始した Pr6/Pr6N 版フォント 26 書体¹で、IVS (Ideographic Variation Sequence) サポートを組み込んだ [1]。主な商用フォントベンダの独立したフォント製品としては、IVS をサポートしたのは初めてとなる。

Pr6/6N 化第一弾には、明朝系 3 ファミリー（合計 10 ウェイト）²、ゴシック系 1 ファミリー（合計ウェイト）を初期リリースとして同時に発売したが、これは 23,058 文字という大規模文字セットである Adobe-Japan1-6（以下、AJ1-6）³ [2] の需要の高い本文書体を優先して開発したためである。2009 年頃から出版社等におけるフォント採用の基準として、対応字種の多さが重視されるようになってきたが、電子書籍に関する一般の認知度の高まりもあり、Pr6 版フォントをリリースするときには IVS による全漢字字形への直接アクセス手段を確保すべきだという筆者の一人（狩野）の提案が 2010 年の春に採用されることになった。

その後、Adobe-Japan1 に次ぐ 2 番目の IVD (Ideographic Variation Database) として Hanyo-Denshi コレクションが昨年 11 月 14 日に登録され、IVS 技術促進協議会が 12 月 6 日に発足 [3]、今年 1 月 27 日に『出版物の Unicode 化推進セミナー』 [4] を開催するなど、IVS をめぐる社会の注目度は急速に高まりつつある。

なお、以下の論考ではとくに断りがなければ、IVD としては 2007 年 12 月 14 日に登録された Adobe-Japan1（以下 AJ1）のみを対象とすることとする。

基本的な前提条件

AJ1-6 の文字セットを実装した OpenType フォントが作成できていれば、そこに IVS を組み込むこと自体は難しくない。問題は、IVD としての AJ1 のサンプル実装である小塚明朝以外では、どの書体も多かれ少なかれ、IVD の上で識別される字形

- 1) 1 書体の製品パッケージには Pr6 版と Pr6N 版の 2 本が同梱されており、リリースしたフォントの総数は 52 本である。両者をまとめて呼ぶときには Pr6/6N 版と表記する。
- 2) イワタ UD 明朝の仮名バリエーション 4 種類を別々に数えるならば 7 ファミリー、22 書体である。
- 3) 非漢字を含むグリフ集合としては、Supplement 番号を付けて AJ1-4, AJ1-6 のように略記することとする。

の実装と何らかの差違がある点である。今回リリースした3種の明朝体（イワタ明朝体ファミリー、イワタ明朝体オールドファミリー、イワタ UD 明朝ファミリー）はそれぞれ固有のデザイン上の特徴を持っているが、それらの差違はCID⁴の違いで識別される字形上の特徴と一部重複する所がある。正確な分析を行わなければ、相互運用性は確保できない。

IVDに限らず、一般に規格と、それを実装する字形集合の包摂規準が食い違う場合、その食い違いは以下の3通り又はその組み合わせに分けられる。

1. 実装が規格よりも細かく部分字形を識別している場合
2. 規格の挙げる複数の字形を包摂して実装している場合
3. 実装とサンプルとの間で字形が入れ替わっている場合

実装が細かく別れている1.の場合、その規格によって表現しきれない字形差が存在するが、利用者間での相互運用性の問題は起こりえない。

2.の複数字形の包摂実装は、多くの場合、部分字形を統一したデザインポリシーをあらかじめ定め、それに沿って実装を行った場合に見られる。たとえば、ヒラギノ明朝体の場合、デザイン包摂規準を公表している[6]。

1., 2.はともにデザインポリシーの相違に起因する物だが、3.の「字形のねじれ」現象はそのような原因によっては起こりえない。ほとんどの場合には、Adobe-Japan1の字種が拡大するに従って、今まで包摂されると考えられていた複数のデザイン差が、区別すべき物として分割されてしまったために起こったものである。

表 1. Adobe-Japan1-0~6 の変遷 [3]

Supplement	日付	グリフ数
0	1992	8,284
1	1993	8,359
2	1993	8,720
3	1998/09	9,354
4	2000/03/31	15,444
5	2002/09/20	20,317
6	2004/06/11	23,058

従来字形と同一の物が追加されたとき、を3.が実際に取りられ、従来不採用だった字形も使われることはあまりないが、イワタ書体ライブラリーにおいてはかなり多数見られる。もともと1字差し替えの容易な活字・母型製造業者に由来するせいか、顧客要求による作り分けを行うことの抵抗は低いように思われる（Pro版開発当時のことは直接は知らないの、全くの想像である）。

現在存在するほとんどのねじれは、AJ1-4への拡大時に生まれた。各CIDに割れ当てられた実字形を変更していいのであれば、バージョンアップを機に、できるだけ小塚明朝と近い字形が来るようにグリフを並べ直すという選択肢もあっただろう（その

4) 論理的には「漢字の Unicode 符号位置と、後続する VS の値 (U+E01xx) の組み合わせ」だが、日本語 OTF の実装は CID の並び順に依存しており、IVD でも対応する CID を挙げているので、より簡便な CID の方を識別に用いるものとする。

場合、標準でユーザに提供したい字体の選択と言うデザインポリシーをあきらめるか、 cmap を改変するかを選択を迫られることになるが)。だが、過去データとの互換性のため、ねじれ及び字形包摂はそのままに実装されることになった。

イワタにおいては Std 版、 Pro 版 OTF において第一・第二水準漢字のデフォルト字形が置かれる CID 1125-7477 に、できるだけその書体固有の字形を配置したいという動機が存在する。イワタの場合はほぼ全ての書体で TrueType 版を同時にリリースしており、字体切り替え機能が使えない TTF と OTF の標準字形を一致させる必要があるのである。

もともと、 IBM 外字においては、イワタの場合は IBM の文字コード表 [7] を字形の標準定義に用いているので、マイクロソフトのキャラクターセット [8] とは IBM 外字の食い違いが一部ある。

字体のねじれは、特に、デジタル書体以前からあった活字の復刻であるイワタ明朝体オールドで著しい。明朝・ゴシックオールド・UD 明朝では小塚明朝と一致している CID が、ねじれている場合が多数ある（巻末付録の③を参照のこと）。しかも、活字サイズに応じて、ふさわしいデザインを採用しているため、止め・払いの使い分け等において、他書体とは異なる独自の造形が見られる。これは、基本的には活字時代のベントン彫刻機用原図のサイズ (R は 2 インチ、 B は 3 インチ) の違いに由来する。

イワタ Pr6/Pr6N 版の基本的な開発方針

開発最初期の段階で、以下のような仕様で製品を開発する方針に決定した。

方針 1. Pr6 版は、Pro 版の上位互換とする。

理想的には、Pro 版のフォントを使ったデータを組版アプリケーションで開いてフォント置換を行ったとき、一切の文字化けや組体裁の崩れが起こさないようにすることが目標である。(もちろん例外はあり、AJ1-4 時代の一部の Technical Notes [9] に見られた U+99C9「駟」(CID+15310) を誤って「駟」に作る字体を正しく改めたほか、国際音標文字 ε, j, θ の大きさ・傾きを改めた)。そのような例外を除いては、Pro 版にすでに存在するグリフは、Pr6 版においても上位互換性を保つことを旨とし、複数のデザイン差を作り分けずに包摂しているのものを作り分けることはしなかった。

方針 2. Pr6 版・Pr6N 版とも同一 CID には同一グリフを格納する。

これは、開発工数の減少 (CID フォントとして同一構造の物が 2 つずつならば検査の手間は半減する) と、文字作成現場の混乱を避けるための措置である。作業ファイルの使用するソフトウェアの使用制限により 21,845 文字までしか 1 書体に使用できないため、AJ1-4 部分は従来通りのファイルに格納し、AJ1-5, AJ1-6 の拡張部分は別ファイルにするという措置をとった。

Pr6 版においてこのような互換性を重視する一方、Pro 版の最初のリリースから 8 年が経過しており、最新の仕様にキャッチアップする必要も強く感じられた。

特に大きな物は、cmap の変更である。Pro 版までイワタを含む各社が使っていた UniJIS-UCS-H と、Adobe やモリサワの Pr5 版以降の書体で使われている UniJIS-UTF32 系列の CMap では、重複符号化されていた記号の整理、漢字等の字形を、JIS X 0213 で採用されている例示字形への差し替えを行っているなど、かなり大きな違いを含んでいる [10]。Pr6N 版においては互換性への配慮は基本的に不要なため、できるだけ現在の標準的な仕様になるように改めている。Pro 版においても、\ と ¥ のどちらを入力しても ¥ が入力されるという不便な独自仕様を改めている。⁵

一方、ダブルミニユートについては、縦書きの二重引用符として入力可能なままにする処理を Pr6N においてもまだ続けている。

最終的に、一部の OpenType フィーチャに関して数文字の入れ替えを行ったため、Pr6N のマッピングは漢字字形の並びに応じてイワタ一般用、イワタ明朝体用、イワタ明朝体オールド用の 3 種類を必要とすることになった。

また、最新の Unicode 6.2 に至るまでの追加文字のマッピング追加を行ったため、⊕ などの新しい記号類が入力可能になっている。⁶

IVS の割当

IVS 割当の基本原則は簡単である。Unicode Consortium に登録されている Adobe-Japan1 の定義を元に、当該フォントで反転しているグリフ割当てについては IVS のコード割当も反転させる、というものである。⁷

だが、書体が違うと CID の割当が違う「ねじれ」があるため、イワタ書体一般用のほかに明朝オールド用、明朝オールド B 専用の 3 種類の割当てファイルを作り、ブラウザ (Firefox4 β 版) でいちいち確認するという、単純ではあるが多大な手間を要した。文字によっては、完全に一致する物がない場合もあるが、デザイナーの判断で分ける必要がないと判断された微小な差違や、重複している字形の両方が Pro 版の (CID 15,443 までの) 範囲に含まれ、変更不可能な物、選択可能な字形の中から最も近い字形を持ってくるしかないものがあり、リリース前の最後の 1 ヶ月程度を筆者の一人 (小澤) がほぼ掛かり切りになってクロスチェックを行う必要があった。

利用に当たって注意すべき点としては、僅かな字形差が残っている字を探すにはコツが必要であるという点以外に、小塚明朝による例示字形では複数の異なるデザインだった物が、デザインポリシーによって複数の同一字形が含まれている場合、片方は本来そこに表示されている字形を表すための IVS でないために、フォントを切り替えたときに字形が化ける可能性が大きいことである。

5) 逆に、その修正の途中で、| と | のどちらも | 形になってしまう誤りを導入している。

6) 副作用として、Mac OS X, InDesign CS2 の組み合わせで縦書きテキストに「寨」(CID 14145) を入力してから Pr6 に置換すると右に 90° 転んでしまうという問題がある。

7) 幸いにも、3 つ以上の字形が巡回的に変化している例はなかった。

GSUB の変更

GSUB の aalt (フォント内の全異体字を列挙しておき、ユーザの選択で呼び出せる OpenType feature) のレパトリ・並び順は、本質的にフォントに依存する物であり、現在、InDesign のタグ付きテキストが aalt 番号に依存することがある仕様はユーザに常に文字化けの危険をもたらす、設計ミスというべき仕様である。

それをフォント側の加工で互換性を保ち続けることには異論もあると思われるが、最初に決めた方針として、技術的に可能な限りの対応を行った。

Pr6 では、Pro 版で用いている aalt テーブルの定義をそのまま用い、追加の CID に対する選択肢を各文字の Lookup の後ろに書き加えることにより、UniJIS-UCS2 と UniJIS-UTF16 のハイブリッド定義からなり、前者と aalt 枝番号に互換性のある GSUB テーブルを作成した。

だが、InDesign CS5 ではこの問題を解決しようとする内部の特別な処理にバグがあり、フォントにロックがかかったり文字化けが発生することが報告されている [11]。それを考えると、弥縫策に弥縫策を重ねることによりより解明しにくいバグを持ち込んでしまっている可能性もあり、どちらがよかったかは今後の評価を待たねばならない。

漢字に関しては、IVS をベースとしたワークフローに早期に移行するべきだと思われる。

GSUB のカスタマイズ

原則的には cmap は Pr6, Pr6N それぞれで共通の物を用いることを予定していた。IVS を用いて、フォントに格納されている全ての漢字字体を伝達することができるのだから、IVS 不使用時の標準的字体はねじれた状態を保持し続けても問題はないはずである。

しかし、表外漢字字体表の印刷標準字体をデフォルトの字形として表示できることを目的に作られた Pr6N においては、AJ1-5 に追加された印刷標準字体と、AJ1-0 の対応文字の入れ替えが行われている場合、逆に正しい文字が出力できないことになることに気付いた。

それに伴い、厩・甑⁸・摯・甕・餌の 5 文字については、印刷標準字体が標準で出るように置換を行った。また、jp04 や nlck といった Pro 版には存在しなかった新しい OpenType Feature には、どの書体でもこれらのフィーチャの飛び先に対応する飛び先の CID を個別に定義した (hojo フィーチャに関連して繋ぐ)。

8) 「甑」については、イワタ明朝体では「甑」と正しく出力されるのがイワタ明朝体オールドでは旁が印刷標準字体のまげはねと異なるそりはねの形になっている。他のソフトでは再現できておらず、やはり前述の弥縫策が副作用となっているのではないかと思われる。

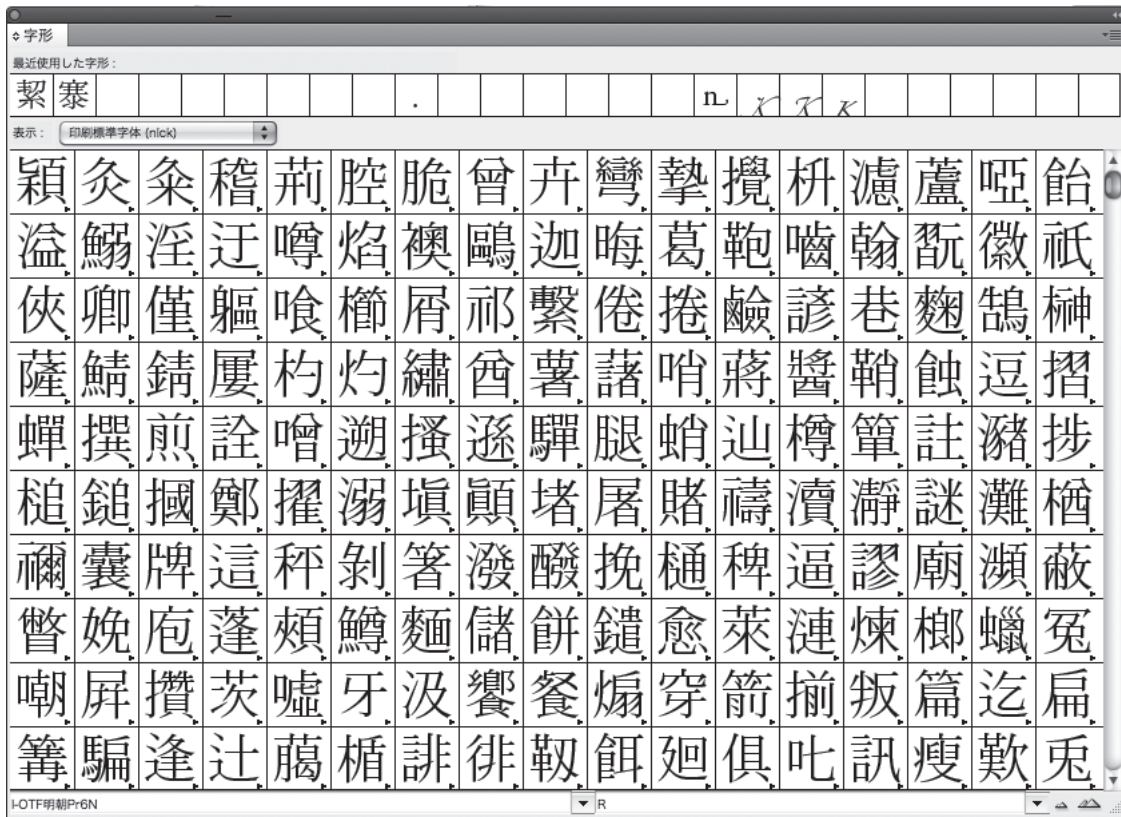
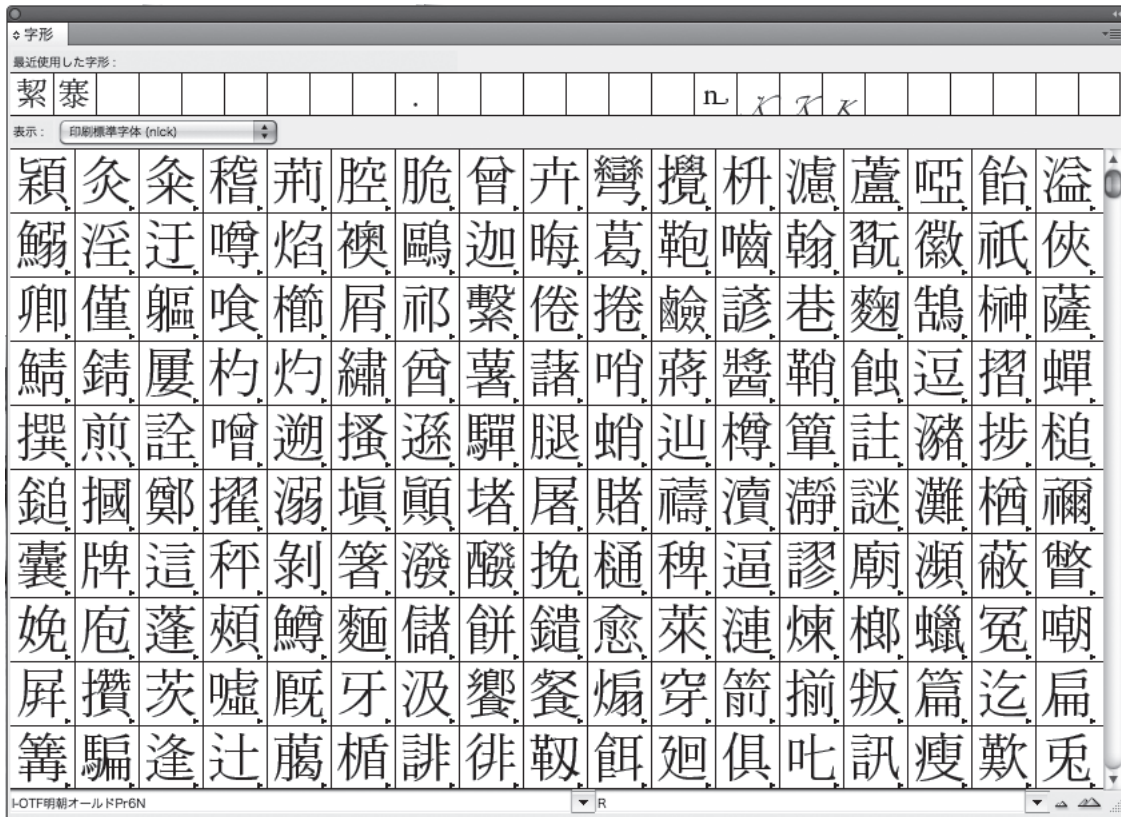


図1. InDesign CS5 の字形パレット。イワタ明朝体とイワタ明朝体オールドとで、中間部のグリフの並び順が違うのが判る。

将来起こり得る潜在的な問題点について

もともと、Adobe-Japan1 はいわば「ベスト・エフォート型」のグリフセットであることには注意が必要である。例示に用いられているのは、最も細かい区別が可能な明朝体であるから、基本的には、Adobe-Japan1 の開発スタンスは、「この字形とこの字形を分けたい」という要望が出てきたときに、分けたいユーザが分けられるための場所を提供する、というものである⁹。すでにある OTF フォントの場合、その程度でしか保証されない。

また、ユーザーインターフェイスとしては、従来の aalt による置換の方法にはまだ及ばない。Unicode コードポイントをまたぐ置換も aalt には含まれているので、簡単な異体字を入力してから目を見て適切な書体を決めることができた IVS テーブルには格納されていないので、まず最も近い Unicode コードポイントを探す所から始めなければならない。

同一字形が重複している場合、何らかの方法で推奨する字形をリストアップする仕掛けや、普段使う字形セットに固定するしかけが必要だろうと考えられる。

ユーザにとって「文字化け」に見えるなら、それは文字化けなのである。

見た目に同じ漢字である互換漢字と IVS の使い分けの問題であるとか、ユーザが欲しい字形が AJ1 がない場合、個別に Hanyo-Denshi から拾ってきて両者を混在させることによるトラブルも考えられる。それがまた新たな不可解な「文字化け」を発生させるに違いない。「素手」ではなく、何らかの方法で入力を補助するツールの開発が待たれる。

9) そのことが、逆に欠点とも言える。整合性のある体系を期待しても、意外な文字が抜けていることが非常に多い。たとえば、漢和辞典を電子書籍にしようとするこの問題に直面するであろうと思われる。

付録

IVS 定義のねじれを示すため、5 種の表を作成した。

- ① イワタ全書体で反転箇所のある文字
- ② 一部書体で CID と字形の対応が反転している文字
- ③ イワタ明朝体またはイワタ明朝体オールドで重複している字形のある文字
- ④ イワタゴシック体オールドで重複している字形のある文字
- ⑤ Pr6N で CID マッピングが書体ごとに異なる文字

比較に使用したフォントは、以下の通りである。

小塚明朝 …… 小塚明朝 Pr6N-R (Adobe CS5 付属)

明朝 R …… イワタ明朝体 Pr6N

オールド R …… イワタ明朝体オールド Pr6N

オールド B …… イワタ太明朝体オールド Pr6N

ゴシック …… イワタゴシック体オールド Pr6N

ここに挙げられた物は、IVS 定義の特筆すべき問題点の全てではない。特に、包摂文字としてリストアップしたのは、機械的に同一の文字を抜き出しただけであり、人の手でいじった、見た目には同一字形にしか見えないような物もこれらのリストのほか存在する。

より詳細な仕様書については、株式会社イワタのサポート情報 Web ページで公開される予定であるので、そちらをご確認いただきたい。

① イワタ全書体で反転箇所のある文字 (1/1)

U+5953

	E0100	E0101	E0101	E0101	E0101
CID+8426	姿	姿	姿	姿	姿
	E0101	E0100	E0100	E0100	E0100
CID+14289	姿	姿	姿	姿	姿

U+59FF

	E0100	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+2207	姿	姿	姿	姿	姿
	E0101	E0101	E0101	E0101	E0101
CID+13792	姿	姿	姿	姿	姿
	E0102	E0100	E0100	E0100	E0100
CID+13793	姿	姿	姿	姿	姿

U+6062

	E0100	E0100	E0100	E0100	E0100
CID+1402	恢	恢	恢	恢	恢
	E0101	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+7648	恢	恢	恢	恢	恢
	E0102	E0101	E0101	E0101	E0101
CID+20269	恢	恢	恢	恢	恢

U+6B21

	E0100	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+2253	次	次	次	次	次
	E0101	E0101	E0101	E0101	E0101
CID+13799	次	次	次	次	次
	E0102	E0100	E0100	E0100	E0100
CID+13800	次	次	次	次	次

U+7078

	E0100	E0101	E0101	N/A	E0101
CID+1662	灸	灸	灸	灸	灸
	E0101	E0100	E0100	N/A	E0100
CID+20270	灸	灸	灸	灸	灸

U+7C82

	E0100	E0101	E0101	E0101	E0101
CID+1791	粵	粵	粵	粵	粵
	E0101	E0100	E0100	E0100	E0100
CID+20272	粵	粵	粵	粵	粵

小塚明朝 明朝 R オールド R オールド B ゴシック

U+8AEE

	E0100	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+2238	諮	諮	諮	諮	諮
	E0101	E0101	E0101	E0101	E0101
CID+13795	諮	諮	諮	諮	諮
	E0102	E0100	E0100	E0100	E0100
CID+13796	諮	諮	諮	諮	諮

U+8CC7

	E0100	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+2239	資	資	資	資	資
	E0101	E0101	E0101	E0101	E0101
CID+13797	資	資	資	資	資
	E0102	E0100	E0100	E0100	E0100
CID+13798	資	資	資	資	資

U+990C

	E0101	E0103	E0103	E0103	E0103
CID+7643	餌	餌	餌	餌	餌
	E0102	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+13413	餌	餌	餌	餌	餌
	E0103	E0101	E0101	E0101	E0101
CID+13650	餌	餌	餌	餌	餌

U+9957

	E0100	E0100	E0100	E0100	E0100
CID+1722	饗	饗	饗	饗	饗
	E0101	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+7968	饗	饗	饗	饗	饗
	E0102	E0101	E0101	E0101	E0101
CID+13727	饗	饗	饗	饗	饗
	E0103	E0103	E0103	E0103	E0103
CID+20249	饗	饗	饗	饗	饗

U+FA11

	E0100	E0101	E0101	E0101	E0101
CID+14290	崎	崎	崎	崎	崎
	E0101	E0100	E0100	E0100	E0100
CID+8443	崎	崎	崎	崎	崎

小塚明朝 明朝 R オールド R オールド B ゴシック

② 一部書体で CID と字形の対応が反転している文字 (1/7)

U+4E08

E0100 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+2510 丈 丈 丈 丈 丈

E0101 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+13463 丈 丈 丈 丈 丈

U+4EA4

E0100 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+1958 交 交 交 交 交

E0101 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+13439 交 交 交 交 交

U+4F7F

E0100 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+2198 使 使 使 使 使

E0101 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+13450 使 使 使 使 使

U+4FBF

E0100 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+3624 便 便 便 便 便

E0101 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+13506 便 便 便 便 便

U+5049

E0100 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+1170 偉 偉 偉 偉 偉

E0101 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+13409 偉 偉 偉 偉 偉

U+5065

E0100 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+1864 健 健 健 健 健

E0101 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+13435 健 健 健 健 健

U+5091

E0100 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+1852 傑 傑 傑 傑 傑

E0101 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+13433 傑 傑 傑 傑 傑

E0102 E0102 E0102 E0102 E0102
CID+13743 傑 傑 傑 傑 傑

U+50CF

E0100 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+2814 像 像 像 像 像

E0101 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+13474 像 像 像 像 像

U+50ED

E0100 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+4191 僭 僭 僭 僭 僭

E0101 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+20078 僭 僭 僭 僭 僭

U+516C

E0100 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+1964 公 公 公 公 公

E0101 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+13440 公 公 公 公 公

U+5206

E0100 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+3580 分 分 分 分 分

E0101 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+13499 分 分 分 分 分

② 一部書体で CID と字形の対応が反転している文字 (2/7)

U+53A9

	E0100	E0100	E0100	E0100	E0100
CID+1243	厩	厩	厩	厩	厩
	E0101	E0101	E0101	E0101	E0101
CID+7640	厩	厩	厩	厩	厩
	E0102	E0102	E0105	E0105	E0102
CID+7964	厩	厩	厩	厩	厩
	E0103	E0103	E0103	E0103	E0103
CID+13412	厩	厩	厩	厩	厩
	E0104	E0104	E0104	E0104	E0104
CID+13647	厩	厩	厩	厩	厩
	E0105	E0105	E0102	E0102	E0105
CID+20271	厩	厩	厩	厩	厩

U+53CE

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+2345	収	収	収	収	収
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13455	収	収	収	収	収

U+53F2

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+2201	史	史	史	史	史
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13451	史	史	史	史	史

U+540F

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+3939	吏	吏	吏	吏	吏
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13513	吏	吏	吏	吏	吏

U+5440

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+4341	呀	呀	呀	呀	呀
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+20089	呀	呀	呀	呀	呀

U+5E43

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+4728	幃	幃	幃	幃	幃
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+20113	幃	幃	幃	幃	幃

U+5EAD

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+3081	庭	庭	庭	庭	庭
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13481	庭	庭	庭	庭	庭

U+5EF6

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+1286	延	延	延	延	延
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13415	延	延	延	延	延
	E0102	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+13654	延	延	延	延	延
	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+3082	廷	廷	廷	廷	廷
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13482	廷	廷	廷	廷	廷

U+6168

	E0100	E0100	E0102	E0102	E0100
CID+1426	慨	慨	慨	慨	慨
	E0101	E0101	E0101	E0101	E0101
CID+13328	慨	慨	慨	慨	慨
	E0102	E0102	E0100	E0100	E0102
CID+13422	慨	慨	慨	慨	慨
	E0103	E0103	E0103	E0103	E0103
CID+13676	慨	慨	慨	慨	慨
	E0104	E0104	E0104	E0104	E0104
CID+13677	慨	慨	慨	慨	慨
	E0105	E0105	E0105	E0105	E0105
CID+13678	慨	慨	慨	慨	慨

② 一部書体で CID と字形の対応が反転している文字 (3/7)

U+61A4

E0100 E0100 E0101 E0100 E0100
CID+3584 憤 憤 憤 憤 憤

E0101 E0101 E0100 E0101 E0101
CID+13501 憤 憤 憤 憤 憤

U+65E1

E0100 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+5089 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

E0101 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+20137 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

U+66C1

E0100 E0100 E0102 E0102 E0100
CID+5119 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

E0101 E0101 E0101 E0101 E0101
CID+7992 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

E0102 E0102 E0100 E0100 E0102
CID+20140 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎 𠄎

U+66F4

E0100 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+1995 更 更 更 更 更

E0101 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+13441 更 更 更 更 更

U+6821

E0100 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+1997 校 校 校 校 校

E0101 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+13442 校 校 校 校 校

U+6982

E0100 E0100 E0102 E0102 E0100
CID+1427 概 概 概 概 概

E0101 E0101 E0101 E0101 E0101
CID+13403 概 概 概 概 概

E0102 E0102 E0100 E0100 E0102
CID+13423 概 概 概 概 概

E0103 E0103 E0103 E0103 E0103
CID+13680 概 概 概 概 概

U+6CBF

E0101 E0101 E0102 E0102 E0101
CID+1290 沿 沿 沿 沿 沿

E0102 E0102 E0101 E0101 E0102
CID+13416 沿 沿 沿 沿 沿

E0100 E0100 E0100 E0100 E0100
CID+13656 沿 沿 沿 沿 沿

U+6F5B

E0100 E0100 E0102 E0102 E0100
CID+5509 潜 潜 潜 潜 潜

E0101 E0101 E0101 E0101 E0101
CID+20164 潜 潜 潜 潜 潜

E0102 E0102 E0100 E0100 E0102
CID+20165 潜 潜 潜 潜 潜

U+7236

E0100 E0100 E0101 E0101 E0100
CID+3541 父 父 父 父 父

E0101 E0101 E0100 E0100 E0101
CID+13497 父 父 父 父 父

② 一部書体で CID と字形の対応が反転している文字 (4/7)

U+7511

	E0100	E0100	E0100	E0100	E0100
CID+2059	甑	甑	甑	甑	甑
	E0101	E0101	E0101	E0101	E0101
CID+7684	甑	甑	甑	甑	甑
	E0102	E0102	E0103	E0103	E0102
CID+13778	甑	甑	甑	甑	甑
	E0103	E0103	E0102	E0102	E0103
CID+20284	甑	甑	甑	甑	甑

U+7515

	E0100	E0100	E0102	E0102	E0100
CID+5704	甕	甕	甕	甕	甕
	E0101	E0101	E0101	E0101	E0101
CID+7843	甕	甕	甕	甕	甕
	E0102	E0102	E0100	E0100	E0102
CID+20267	甕	甕	甕	甕	甕

U+786C

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+2007	硬	硬	硬	硬	硬
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13443	硬	硬	硬	硬	硬

U+7A74

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+1856	穴	穴	穴	穴	穴
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13434	穴	穴	穴	穴	穴
	E0102	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+13745	穴	穴	穴	穴	穴

U+7C89

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+3588	粉	粉	粉	粉	粉
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13502	粉	粉	粉	粉	粉

U+7D1B

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+3590	紛	紛	紛	紛	紛
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13503	紛	紛	紛	紛	紛

U+7D5E

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+2012	絞	絞	絞	絞	絞
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13444	絞	絞	絞	絞	絞

U+7DCF

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+2799	総	総	総	総	総
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13472	総	総	総	総	総

U+7DEF

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+1186	緯	緯	緯	緯	緯
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13410	緯	緯	緯	緯	緯

U+7E35

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+6123	縵	縵	縵	縵	縵
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13577	縵	縵	縵	縵	縵
	E0102	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+14184	縵	縵	縵	縵	縵

U+7FC1

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+1319	翁	翁	翁	翁	翁
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13418	翁	翁	翁	翁	翁
	E0102	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+13662	翁	翁	翁	翁	翁

② 一部書体で CID と字形の対応が反転している文字 (5/7)

U+8061

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+2801	聡	聡	聡	聡	聡
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13473	聡	聡	聡	聡	聡

U+8071

	E0100	E0100	E0100	E0101	E0100
CID+15019	聾	聾	聾	聾	聾
	E0101	E0101	E0101	E0100	E0101
CID+15401	聾	聾	聾	聾	聾

U+8073

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+6221	聾	聾	聾	聾	聾
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13582	聾	聾	聾	聾	聾

U+807E

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+4062	聾	聾	聾	聾	聾
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13518	聾	聾	聾	聾	聾

U+821C

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+2402	舜	舜	舜	舜	舜
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13459	舜	舜	舜	舜	舜

U+8239

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+2727	船	船	船	船	船
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13471	船	船	船	船	船
	E0102	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+13886	船	船	船	船	船

U+8247

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+3094	艇	艇	艇	艇	艇
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13483	艇	艇	艇	艇	艇

U+847A

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+3562	葺	葺	葺	葺	葺
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13498	葺	葺	葺	葺	葺

U+8563

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+6437	薺	薺	薺	薺	薺
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+20208	薺	薺	薺	薺	薺

U+885B

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+1268	衛	衛	衛	衛	衛
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13414	衛	衛	衛	衛	衛

U+8A1F

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+2497	訟	訟	訟	訟	訟
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13462	訟	訟	訟	訟	訟

U+8A95

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+2944	誕	誕	誕	誕	誕
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13475	誕	誕	誕	誕	誕
	E0102	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+13917	誕	誕	誕	誕	誕

② 一部書体で CID と字形の対応が反転している文字 (6/7)

U+8CA7

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+3521	貧	貧	貧	貧	貧
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13496	貧	貧	貧	貧	貧

U+8F2F

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+2366	輯	輯	輯	輯	輯
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13456	輯	輯	輯	輯	輯

U+9055

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+1191	違	違	違	違	違
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13411	違	違	違	違	違
	E0102	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+13641	違	違	違	違	違

U+90AA

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+2309	邪	邪	邪	邪	邪
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13454	邪	邪	邪	邪	邪
	E0102	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+13806	邪	邪	邪	邪	邪

U+925B

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+1302	鉛	鉛	鉛	鉛	鉛
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13417	鉛	鉛	鉛	鉛	鉛
	E0102	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+13659	鉛	鉛	鉛	鉛	鉛

U+964D

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+2033	降	降	降	降	降
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13447	降	降	降	降	降

U+96A3

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+4001	隣	隣	隣	隣	隣
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13514	隣	隣	隣	隣	隣
	E0102	E0102	E0102	E0102	E0102
CID+14091	隣	隣	隣	隣	隣

U+96D9

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+4331	雙	雙	雙	雙	雙
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13525	雙	雙	雙	雙	雙

U+96F0

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+3591	霽	霽	霽	霽	霽
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13504	霽	霽	霽	霽	霽

U+980C

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+7180	頌	頌	頌	頌	頌
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13625	頌	頌	頌	頌	頌

U+9812

	E0100	E0100	E0101	E0101	E0100
CID+3430	頌	頌	頌	頌	頌
	E0101	E0101	E0100	E0100	E0101
CID+13490	頌	頌	頌	頌	頌

② 一部書体で CID と字形の対応が反転している文字 (7/7)

U+9813

	E0100	E0100	E0100	E0101	E0100
CID+3252	頓	頓	頓	頓	頓

	E0101	E0101	E0101	E0100	E0101
CID+7764	頓	頓	頓	頓	頓

③ イワタ明朝体またはイワタ明朝体オールドで重複している字形のある文字 (1/2)

U+9022

	E0100	E0100	E0100
CID+1133	逢	逢	逢
	E0101	E0101	E0101
CID+8266	逢	逢	逢
	E0102	E0102	E0102
CID+13408	逢	逢	逢

U+5BB3

	E0100	E0100	E0100
CID+1424	害	害	害
	E0101	E0101	E0101
CID+13421	害	害	害
	E0102	E0102	E0102
CID+13675	害	害	害
	E0103	E0103	E0103
CID+20111	害	害	害

U+853D

	E0100	E0100	E0100
CID+3603	蔽	蔽	蔽
	E0101	E0101	E0101
CID+7789	蔽	蔽	蔽
	E0102	E0102	E0102
CID+13505	蔽	蔽	蔽

U+7FAE

	E0100	E0100	E0100
CID+6187	羹	羹	羹
	E0101	E0101	E0101
CID+13578	羹	羹	羹

U+8703

	E0100	E0100	E0100
CID+6510	蜃	蜃	蜃
	E0101	E0101	E0101
CID+20296	蜃	蜃	蜃

U+585A

	E0100	E0100	E0100
CID+3049	塚	塚	塚
	E0101	E0101	E0101
CID+7746	塚	塚	塚
	E0102	E0102	E0102
CID+8422	塚	塚	塚

U+7B08

	E0100	E0100	E0100
CID+1666	笈	笈	笈
	E0101	E0101	E0101
CID+7967	笈	笈	笈
	E0102	E0102	E0102
CID+20263	笈	笈	笈

U+7C3E

	E0100	E0100	E0100
CID+4036	簾	簾	簾
	E0101	E0101	E0101
CID+7981	簾	簾	簾
	E0102	E0102	E0102
CID+20265	簾	簾	簾

U+5315

	E0101	N/A	N/A
CID+7983	匕	匕	匕
	E0100	E0100	E0100
CID+13523	匕	匕	匕

U+55A9

	E0100	E0101	E0101
CID+4411	喻	喻	喻
	E0101	N/A	N/A
CID+7984	喻	喻	喻
	E0102	E0102	E0102
CID+13526	喻	喻	喻

③ イワタ明朝体またはイワタ明朝体オールドで重複している字形のある文字 (2/2)

U+6E23

	E0100	E0101	E0101
CID+5459	渣	渣	渣

	E0101	N/A	N/A
CID+7994	渣	渣	渣

	E0102	E0102	E0102
CID+13558	渣	渣	渣

U+5BDB

	E0100	E0100	E0100
CID+1518	寛	寛	寛

	E0101	E0101	E0101
CID+8436	寛	寛	寛

	E0100	E0100	E0100
CID+20302	寛	寛	寛

U+6801

	E0101	E0101	E0101
CID+8494	柳	柳	柳

	E0100	E0100	E0100
CID+14066	柳	柳	柳

U+704A

	E0101	E0101	E0101
CID+14744	濤	濤	濤

	E0100	E0100	E0100
CID+20306	濤	濤	濤

U+7A60

	E0101	E0101	E0101
CID+14926	穰	穰	穰

	E0100	E0100	E0100
CID+20310	穰	穰	穰

④ イワタゴシック体オールドで重複している字形のある文字（1/7）

U+9022

E0100 E0100
CID+1133 逢 逢

E0101 E0101
CID+8266 逢 逢

E0102 E0102
CID+13408 逢 逢

U+5EF6

E0100 E0100
CID+1286 延 延

E0101 E0101
CID+13415 延 延

E0102 E0102
CID+13654 延 延

U+868A

E0100 E0100
CID+1379 蚊 蚊

E0101 E0101
CID+20212 蚊 蚊

U+5EFB

E0100 E0100
CID+1398 廻 廻

E0101 E0101
CID+13673 廻 廻

U+5BB3

E0100 E0100
CID+1424 害 害

E0101 E0101
CID+13421 害 害

E0102 E0102
CID+13675 害 害

E0103 E0103
CID+20111 害 害

U+8F03

E0100 E0100
CID+1457 較 較

E0101 E0101
CID+20226 較 較

U+91DC

E0100 E0100
CID+1494 釜 釜

E0101 E0101
CID+20290 釜 釜

U+5065

E0100 E0100
CID+1864 健 健

E0101 E0101
CID+13435 健 健

U+5EFA

E0100 E0100
CID+1872 建 建

E0101 E0101
CID+13436 建 建

U+9375

E0100 E0100
CID+1892 鍵 鍵

E0101 E0101
CID+20276 鍵 鍵

U+4EA4

E0100 E0100
CID+1958 交 交

E0101 E0101
CID+13439 交 交

U+66F4

E0100 E0100
CID+1995 更 更

E0101 E0101
CID+13441 更 更

④ イワタゴシック体オールドで重複している字形のある文字 (2/7)

U+6821

E0100 E0100
CID+1997 校 校

E0101 E0101
CID+13442 校 校

U+6897

E0100 E0100
CID+1998 梗 梗

E0101 E0101
CID+20279 梗 梗

U+786C

E0100 E0100
CID+2007 硬 硬

E0101 E0101
CID+13443 硬 硬

U+7D5E

E0100 E0100
CID+2012 絞 絞

E0101 E0101
CID+13444 絞 絞

U+53C9

E0100 E0100
CID+2085 叉 叉

E0101 E0101
CID+20281 叉 叉

U+6E08

E0100 E0100
CID+2113 濟 濟

E0101 E0101
CID+20159 濟 濟

U+658E

E0100 E0100
CID+2120 齋 齋

E0101 E0101
CID+20134 齋 齋

U+5264

E0100 E0100
CID+2126 劑 劑

E0101 E0101
CID+20084 劑 劑

U+9BAB

E0100 E0100
CID+2171 鮫 鮫

E0101 E0101
CID+20280 鮫 鮫

U+4F7F

E0100 E0100
CID+2198 使 使

E0101 E0101
CID+13450 使 使

U+53F2

E0100 E0100
CID+2201 史 史

E0101 E0101
CID+13451 史 史

U+59FF

E0100 E0102
CID+2207 姿 姿

E0101 E0101
CID+13792 姿 姿

E0102 E0100
CID+13793 姿 姿

U+8AEE

E0100 E0102
CID+2238 諮 諮

E0101 E0101
CID+13795 諮 諮

E0102 E0100
CID+13796 諮 諮

④ イワタゴシック体オールドで重複している字形のある文字 (3/7)

U+8CC7

E0100 E0102
CID+2239 資 資

E0101 E0101
CID+13797 資 資

E0102 E0100
CID+13798 資 資

U+6B21

E0100 E0102
CID+2253 次 次

E0101 E0101
CID+13799 次 次

E0102 E0100
CID+13800 次 次

U+4E08

E0100 E0100
CID+2510 丈 丈

E0101 E0101
CID+13463 丈 丈

U+6756

E0100 E0100
CID+2523 杖 杖

E0101 E0101
CID+20282 杖 杖

U+9042

E0100 E0100
CID+2609 遂 遂

E0101 E0101
CID+13468 遂 遂

E0102 E0102
CID+13864 遂 遂

U+6589

E0100 E0100
CID+2666 齊 齊

E0101 E0101
CID+20132 齊 齊

U+96BB

E0100 E0100
CID+2669 隻 隻

E0101 E0101
CID+13877 隻 隻

U+8A95

E0100 E0100
CID+2944 誕 誕

E0101 E0101
CID+13475 誕 誕

E0102 E0102
CID+13917 誕 誕

U+5EAD

E0100 E0100
CID+3081 庭 庭

E0101 E0101
CID+13481 庭 庭

U+5EF7

E0100 E0100
CID+3082 廷 廷

E0101 E0101
CID+13482 廷 廷

U+633A

E0100 E0100
CID+3086 挺 挺

E0101 E0101
CID+20286 挺 挺

④ イワタゴシック体オールドで重複している字形のある文字 (4/7)

U+8247

E0100 E0100
CID+3094 艇 艇

E0101 E0101
CID+13483 艇 艇

U+99C1

E0100 E0100
CID+3379 駁 駁

E0101 E0101
CID+20288 駁 駁

U+65A7

E0100 E0100
CID+3538 斧 斧

E0101 E0101
CID+20289 斧 斧

U+7236

E0100 E0100
CID+3541 父 父

E0101 E0101
CID+13497 父 父

U+6587

E0100 E0100
CID+3592 文 文

E0101 E0101
CID+20131 文 文

U+853D

E0100 E0100
CID+3603 蔽 蔽

E0101 E0101
CID+7789 蔽 蔽

E0102 E0102
CID+13505 蔽 蔽

U+4FBF

E0100 E0100
CID+3624 便 便

E0101 E0101
CID+13506 便 便

U+97AD

E0100 E0100
CID+3628 鞭 鞭

E0101 E0101
CID+20291 鞭 鞭

U+7D0B

E0100 E0100
CID+3826 紋 紋

E0101 E0101
CID+14060 紋 紋

U+723A

E0100 E0100
CID+3832 爺 爺

E0101 E0101
CID+20294 爺 爺

U+540F

E0100 E0100
CID+3939 吏 吏

E0101 E0101
CID+13513 吏 吏

U+511A

E0100 E0100
CID+4202 僂 僂

E0101 E0101
CID+14102 僂 僂

U+96D9

E0100 E0100
CID+4331 雙 雙

E0101 E0101
CID+13525 雙 雙

④ イワタゴシック体オールドで重複している字形のある文字 (5/7)

U+54AC

E0100 E0100
CID+4368 咬 咬

E0101 E0101
CID+20277 咬 咬

U+6268

E0100 E0100
CID+4949 扱 扱

E0101 E0101
CID+13542 扱 扱

U+646F

E0100 E0100
CID+5020 摯 摯

E0101 E0101
CID+20264 摯 摯

U+67A9

E0100 E0100
CID+5155 忝 忝

E0101 E0101
CID+13549 忝 忝

U+72E1

E0100 E0100
CID+5629 狡 狡

E0101 E0101
CID+20278 狡 狡

U+7515

E0100 E0100
CID+5704 甕 甕

E0101 E0101
CID+7843 甕 甕

E0102 E0102
CID+20267 甕 甕

U+7526

E0100 E0100
CID+5707 甞 甞

E0101 E0101
CID+20283 甞 甞

U+7B75

E0100 E0100
CID+5976 筵 筵

E0101 E0101
CID+20266 筵 筵

U+7E35

E0100 E0100
CID+6123 縵 縵

E0101 E0101
CID+13577 縵 縵

E0102 E0102
CID+14184 縵 縵

U+7FAE

E0100 E0100
CID+6187 羹 羹

E0101 E0101
CID+13578 羹 羹

U+8171

E0100 E0100
CID+6258 臄 臄

E0101 E0101
CID+20275 臄 臄

U+8654

E0100 E0100
CID+6481 虔 虔

E0101 E0101
CID+20274 虔 虔

④ イワタゴシック体オールドで重複している字形のある文字 (6/7)

U+8703

E0100 E0100
CID+6510 𧄑 𧄑

E0101 E0101
CID+20296 𧄑 𧄑

U+9771

E0100 E0100
CID+7152 𧄑 𧄑

E0101 E0101
CID+7710 𧄑 𧄑

E0102 E0102
CID+13624 𧄑 𧄑

U+585A

E0100 E0100
CID+3049 塚 塚

E0101 E0101
CID+7746 塚 塚

E0102 E0102
CID+8422 塚 塚

U+7B08

E0100 E0100
CID+1666 笈 笈

E0101 E0101
CID+7967 笈 笈

E0102 E0102
CID+20263 笈 笈

U+7C3E

E0100 E0100
CID+4036 簾 簾

E0101 E0101
CID+7981 簾 簾

E0102 E0102
CID+20265 簾 簾

U+5315

E0101 N/A
CID+7983 匕 匕

E0100 E0100
CID+13523 匕 匕

U+55A9

E0100 E0101
CID+4411 喻 喻

E0101 N/A
CID+7984 喻 喻

E0102 E0102
CID+13526 喻 喻

U+6E23

E0100 E0101
CID+5459 渣 渣

E0101 N/A
CID+7994 渣 渣

E0102 E0102
CID+13558 渣 渣

U+5BDB

E0100 E0100
CID+1518 寬 寬

E0101 E0101
CID+8436 寬 寬

E0100 E0100
CID+20302 寬 寬

U+6801

E0101 E0101
CID+8494 柳 柳

E0100 E0100
CID+14066 柳 柳

④ イワタゴシック体オールドで重複している字形のある文字 (7/7)

U+7511

E0100 E0100
CID+2059 甌 甌

E0101 E0101
CID+7684 甌 甌

E0102 E0102
CID+13778 甌 甌

E0103 E0103
CID+20284 甌 甌

U+704A

E0101 E0101
CID+14744 漚 漚

E0100 E0100
CID+20306 漚 漚

小塚明朝 ゴシック

U+7A60

E0101 E0101
CID+14926 穰 穰

E0100 E0100
CID+20310 穰 穰

U+8803

E0101 E0101
CID+15107 羸 羸

E0100 E0100
CID+20312 羸 羸

U+95AB

E0101 E0101
CID+15258 閼 閼

E0100 E0100
CID+20313 閼 閼

小塚明朝 ゴシック

⑤ Pr6N で CID マッピングが書体ごとに異なる文字 (1/1)

U+53A9

E0100 E0100 E0100 E0100 E0100
CID+1243 既 既 既 既 既

E0101 E0101 E0101 E0101 E0101
CID+7640 既 既 既 既 既

E0102 E0102 E0105 E0105 E0102
CID+7964 既 既 既 既 既

E0103 E0103 E0103 E0103 E0103
CID+13412 既 既 既 既 既

E0104 E0104 E0104 E0104 E0104
CID+13647 既 既 既 既 既

E0105 E0105 E0102 E0102 E0105
CID+20271 既 既 既 既 既

U+646F

E0100 E0100 E0100 E0100 E0100
CID+5020 摯 摯 摯 摯 摯

E0101 E0101 E0101 E0101 E0101
CID+20264 摯 摯 摯 摯 摯

U+7511

E0100 E0100 E0100 E0100 E0100
CID+2059 甌 甌 甌 甌 甌

E0101 E0101 E0101 E0101 E0101
CID+7684 甌 甌 甌 甌 甌

E0102 E0102 E0103 E0103 E0102
CID+13778 甌 甌 甌 甌 甌

E0103 E0103 E0102 E0102 E0103
CID+20284 甌 甌 甌 甌 甌

U+7515

E0100 E0100 E0102 E0102 E0100
CID+5704 甕 甕 甕 甕 甕

E0101 E0101 E0101 E0101 E0101
CID+7843 甕 甕 甕 甕 甕

E0102 E0102 E0100 E0100 E0102
CID+20267 甕 甕 甕 甕 甕

U+7D5C

E0101 E0101 E0101 E0101 E0101
CID+8592 絜 絜 絜 絜 絜

E0100 E0100 E0100 E0100 E0100
CID+17041 絜 絜 絜 絜 絜

U+990C

E0100 E0100 E0100 E0100 E0100
CID+1252 餌 餌 餌 餌 餌

E0101 E0103 E0103 E0103 E0103
CID+7643 餌 餌 餌 餌 餌

E0102 E0102 E0102 E0102 E0102
CID+13413 餌 餌 餌 餌 餌

E0103 E0101 E0101 E0101 E0101
CID+13650 餌 餌 餌 餌 餌

参照文献

(Web上のリソースは、断りのない物は2011年2月22日確認)

- [1] 株式会社イワタ, 新書体情報, <http://www.iwatafont.co.jp/news/pr6.html>
- [2] Unicode Consortium, Ideographic Variation Database. <http://www.unicode.org/ivd/>
- [3] Adobe Systems, Adobe-Japan1-6 Character Collection for CID-Keyed Fonts (Technical Note #5078), <http://partners.adobe.com/public/developer/en/font/5078.Adobe-Japan1-6.pdf>
- [4] Microsoft, 異なる字体の相互運用を可能にする I V S 技術促進のための協議会を設立, 2000年12月6日, <http://www.microsoft.com/japan/presspass/detail.aspx?newsid=3929>
- [5] 株式会社イースト, 2011.01.27 出版物の Unicode 化推進セミナー, <http://bizpal.jp/epub/00012>
- [6] 大日本スクリーン株式会社, 『ヒラギノ字形のデザイン包摂規準一例』, http://www.screen.co.jp/ga_product/sento/pdf/housetsu.pdf, 2001年9月30日
- [7] IBM Japan, IBM 漢字システムセット一覧表 (N:GC18-0611-0), 1刷1979年8月
- [8] Microsoft, Windows Codepage 932, <http://msdn.microsoft.com/ja-jp/goglobal/cc305152.aspx>
- [9] Adobe Systems, Adobe-Japan1-4 Character Collection for CID-Keyed Fonts (Technical Note #5078), 12 August 2000 (2000年10月4日確認), 01 November 2000 (2001年4月1日確認). (初版 (31 March 2000. 2000年6月23日確認) はリュウミンで組まれており, この誤りを含まない)
- [10] 直井靖, UniJIS-UCS2 と UniJIS-UTF32 の差異, http://web.me.com/y.naoi/memo/Download_files/diff_cmap_090723.pdf
- [11] 直井靖, MacOS X の文字コード問題に関するメモ, 2010-10-24 InDesignCS でフォントを変えようとする, 1 <http://d.hatena.ne.jp/NOI/20101014/1287041332>